

は	ら	い		っ	も	私	ら	そ	に	る	し	大	つ	迫	大		水	先	「
変	に	る	し	た	も	は	ぜ	う	一	浸	た	な	き	力	な	白	峡	生	そ
わ	歩	。此	か	な	素	既	ひ	な	つ	食	沢	岩	吊	満	花	谷	ツ	の	れ
り	い	処	し	ん	晴	に	探	ほ	ハ	で	が	壁	橋	点	崗	雲	ア	号	で
や	て	で	白	て	ら	白	し	ど	ー	削	見	の	に	の	岩	水	ー	令	は
す	い	は	谷	と	し	谷	て	綺	ト	れ	え	間	出	道	を	峡	が	が	出
い	る	終	雲	。	い	雲	見	麗	の	た	る	を	る	だ	よ	を	始	か	発
も	と	わ	水		神	水	て	な	形	穴	。	縫	。	。	じ	ま	ま	か	し
の	雨	ら	峡		秘	峡	欲	な	を	が	。	う	そ	そ	登	っ	っ	か	ま
だ	が	な	は		的	に	し	な	し	あ	。	よ	こ	こ	る	た	。	。	し
。	降	い	山		な	魅	い	穴	た	る	。	う	か	ら	形	。		。	よ
急	り	。	の		場	了	。	だ	。	。	。	に	ら	し	で			。	う
い	出	。	奥		所	さ	こ	、	あ	。	あ	流	下	ば	最			。	!
で	し	。	深		が	れ	の	白	。	。	。	れ	を	ら	初			。	!
バ	た	。	く		こ	た	最	谷	。	。	。	キ	覗	く	に			。	!
ッ	。	。	ま		の	。	初	雲	。	。	。	ラ	き	歩	出			。	!
ク	山	。	た		屋	。	の	水	。	。	。	キ	込	く	会			。	!
か	に	。	。		久	。	多	峡	。	。	。	ラ	む	と	う			。	!
ら	天	。	。		島	。	の	に	。	。	。	。	と	さ	の			。	!
レ	気	。	。		に	。	中	行	。	。	。	。	巨	。	は			。	!
		。	。		あ	。	。	っ	。	。	。	。	。	。	、			。	!
		。	。		あ	。	。	た	。	。	。	。	。	。	巨			。	!

20 × 20

い	い	ま	し	ラ	所	の	で	ぐ	て	台	え	歩	見	い	で	ケ	一	し	イ
る	。	っ	た	ッ	だ	隙	最	り	根	に	て	い	え	て	、	に	つ	い	ン
。	主	す	。	ク	。	間	後	杉	が	根	く	て	な	い	日	水	の	気	コ
台	幹	ぐ	歩	ス	お	か	の	を	ト	を	。	い	い	。	の	が	要	分	ー
風	の	で	い	。	菓	ら	休	潜	ン	張	。	い	。	。	素	滴	な	に	ト
の	上	見	て	そ	子	陽	憩	る	ネ	り	。	。	。	。	と	。	な	なる	を
直	端	事	す	ん	を	光	場	と	ル	成	。	。	。	。	な	。	る	取	
撃	に	な	ぐ	な	摘	が	だ	す	の	長	。	。	。	。	。	。	が	り	
が	七	屋	に	ひ	ま	差	。	ぐ	よ	し	。	。	。	。	。	。	、	出	
多	本	久	今	と	み	込	周	に	う	、	。	。	。	。	。	。	。	す	
い	の	杉	度	時	な	んで	り	は	に	土	。	。	。	。	。	。	。	。	
地	枝	だ	は	を	が	い	に	沢	な	台	。	。	。	。	。	。	。	。	
帯	が	が	。	堪	ら	る	は	が	あ	の	。	。	。	。	。	。	。	。	
で	樹	樹	。	能	沢	絶	は	流	る	倒	。	。	。	。	。	。	。	。	
あ	冠	高	。	し	の	好	沢	れ	の	木	。	。	。	。	。	。	。	。	
り	を	は	。	た	音	の	が	、	だ	が	。	。	。	。	。	。	。	。	
な	形	高	。	後	を	休	朽	。	。	朽	。	。	。	。	。	。	。	。	
が	成	く	。	、	聞	憩	ち	。	。	ち	。	。	。	。	。	。	。	。	
ら	し	は	。	再	き	。	果	。	。	こ	。	。	。	。	。	。	。	。	
倒	て	な	。	開	り	。	々	。	。	ち	。	。	。	。	。	。	。	。	

20 × 20

木	す	る	こ	と	な	く	長	い	年	月	を	耐	え	忍	ん	だ	屋	久	杉
だ	。	そ	ん	な	大	先	輩	の	老	木	を	通	り	過	ぎ	、	沢	を	超
え	つ	い	に	た	ど	り	着	く	。	「	苔	む	す	森	」	冒	頭	に	書
い	た	「	も	の	の	け	姫	」	の	大	部	分	の	モ	デ	ル	が	こ	の
苔	む	す	森	だ	。	本	当	に	神	々	が	い	そ	う	な	ほ	ど	美	し
く	厳	か	で	神	秘	的	だ	っ	た	。	そ	ん	な	「	苔	む	す	森	」
を	通	り	抜	け	、	足	を	気	合	で	動	か	し	歩	い	て	つ	い	た
ら	、	「	辻	峠	」	自	然	の	昼	食	会	場	だ	。	荷	物	は	い	っ
た	ん	こ	こ	に	置	き	、	急	な	山	の	斜	面	を	よ	じ	登	る	。
登	り	続	け	て	つ	い	に	た	ど	り	着	い	た	。	こ	の	遠	足	の
目	的	地	、	大	本	命	「	太	鼓	岩	」	山	の	上	に	あ	り	奥	岳
を	見	渡	せ	る	岩	。	叩	く	と	文	字	通	り	太	鼓	の	よ	う	に
音	が	す	る	。	し	か	し	、	こ	の	断	崖	絶	壁	の	崖	淵	あ	る
こ	の	岩	は	高	所	恐	怖	症	の	私	に	は	中	々	に	応	え	た	。
今	度	は	山	を	下	り	峠	に	戻	る	。	母	特	製	の	お	弁	当	を
食	べ	帰	路	に	就	く	、	帰	り	の	白	谷	雲	水	峡	は	ま	た	違
う	風	景	が	見	え	て	き	て	大	変	面	白	い	。	出	発	地	に	戻
り	、	私	の	白	谷	雲	水	峡	ツ	ア	」	は	幕	を	閉	じ	た	。	
	私	は	こ	の	美	し	い	場	所	が	い	つ	ま	で	も	、	い	つ	ま
で	も	残	っ	て	い	る	こ	と	を	心	か	ら	願	う	。				

20 × 20